



資料提示の工夫



資料の朗読



一番オーソドックスな形、資料の中身が一読でわかるようにゆっくり、はっきりと授業者が読んでいく。BGMを使うと、さらに資料の世界に入っていくやすい。

役割分担して読む

私は考えました。
(主人公)

本当にありがとう
(お母さん)

おんちゃん
ちょうだい。
(主人公)

毎度おおきに。
(おんちゃん)



3年 「プレゼント」
～温かい家族～



4年 「正直五十円分」
～正直に生きる～

T T授業など協力体制で臨む授業では、登場人物を役割分担して、よりイメージしやすいように読み聞かせをする。

資料を暗誦して



ゆたかくんを何度も見ながら、どんなことを考えたかな。

2年「一りん車」
～すなおに～

教師が資料を暗記して、児童に語りかけるように読み聞かせる。子どもの表情や反応を確かめながら、ゆっくりと読み進める。時には、場面を区切って確かめながら進める。

挿入絵・キーワードを使いながら



「きみが とったの。」

「でも、にがしてやるんだ。」

2年「ひみつのばしょ」
～自然となかよく～

資料をよりイメージ豊かに伝えるために、挿入絵・キーワードを使いながら、内容の展開を時系列に沿って範読しながら押さえていく。

教材を映像化して



今から映像を見て
もらいます。

3年「さとしの心」
～友だちと助け合って
友情を深める～

資料の話を本校教職員が実際に演じ、その映像を使い資料提示を行った。考えさせたい場面では、VTRを止めながら発問していった。

CDによる読み聞かせ



やさしくしてもらって
うれしかったことは？

2年
「ぐみの木と小鳥」
～だれに対しても
温かい心で～

CDを使った読み聞かせは、表現力豊かな範読や効果音などにより、内容がイメージ豊かに伝わり、資料の世界に入り込みやすい。また、授業者は、子どもたち一人ひとりの表情や様子を確認しながら進めることができる。